すぎなみ大人塾2006夜コース

すぎなみソーシャル･デザイン塾

～杉並をデザインする社会起業家になる～

ソーシャル･デザインに向けて

(株)三井物産戦略研究所
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科

新谷大輔
(すぎなみ大人塾学習支援者)
<E-mail: D.Shintani@mitsui.com>

2007年2月24日
合同発表会

Daisuke Shintani 2007

すぎなみソーシャル・デザイン塾が目指したもの

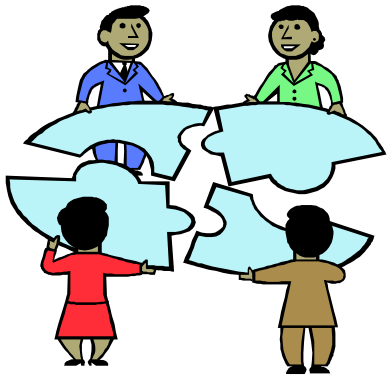
- *地域社会やコミュニティにおいて、*
- *市民ひとりひとりが、自らの力で、*
- *社会をデザインできる“ソーシャル・デザイナー”を育成すること*

そのために、ソーシャル・デザイン塾では、

- *自分の可能性に気づき、*
- *地域や身の回りのリソース（資源）の価値に気づき、*
- *それをどうやって、行動やモデルに具体化していくか、*

を講演＋ワークショップによって検討。

ソーシャル・デザイナーとは



いろんなリソースを発見し、俯瞰で見て、つないだり、編集したりすることが出来る人

つながりのポイントを見出せる人

ティッピング・ポイント

「あるアイデアや流行もしくは社会的行動が敷居を越えて一気に流れ出し、野火のように広がる劇的瞬間のこと。（M. グラッドウェル）」

ソーシャル･デザイナーの役割

- 地域活性化は一人の市民が騒ぐだけでは何も起こらない。一人の関心がコミュニティ全体の意識へと拡大しなければ地域活性への動きは起こらない。

⇒きっかけ作りの出来る人、組織＝つなぐことが出来る人、組織

ソーシャル･デザイナーの役割

- 重要なのは、市民[illegible]の意識付け。市民が何らかの価値[illegible]や問題意識を共有する[illegible]が出来れば、容易にネットワークは拡大[illegible]る。

⇒市民を巻き込む動き　※NP[illegible]機[illegible]重要。

- まちづくりのポイントはコミュ[illegible]る資源を利用･再生させ、地域の人々に自信を回復させること。

⇒町の誇り、愛着、共通意識　＊求心力となるもの

ティッピング･ポイント

すぎなみ大人塾2006夜コース

すぎなみソーシャル･デザイン塾～杉並をデザインする社会起業家になる～

1	6月21日	キックオフ	デザイン力とソーシャル･キャピタル 自己紹介とキーワード作り	学習支援者　新谷大輔 (株)三井物産戦略研究所
2	6月28日	<第1章>「つながり発見」～自分を知る･すぎなみを知る	★ゲスト講師を招いた公開講座 「好きなまちで仕事を創る Address the Smile」	NPO法人 ETIC. フェロー 広石　拓司
3	7月5日		アセット･マッピング	新谷大輔
4	7月19日		未来マッピング	新谷大輔
5	8月9日		★ゲスト講師を招いた公開講座 「社会とのつながりに出会う体験型ワークショップ」	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ企画ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ 中野　民夫
6	8月30日		つながりワークショップ	新谷大輔
7	9月6日		★ゲスト講師を招いた公開講座 「コミュニケーション集中治療室」	ｼﾞｬｽﾄﾚｰﾄﾞ㈱代表取締役 須子はるか
8	9月20日	<第２章>「地域の学校」～学校教育の改革をきっかけに「地域みんなの学校」づくりをデザイン	課題抽出ワークショップ	新谷大輔
9	9月27日		★ゲスト講師を招いた公開講座 「学校を地域に取り戻せー株式会社の実践	美川特区アットマーク国際高校　校長　日野公三
合同	10月11日		1．大人塾中間報告 2．講演「スローフードな日本」	ﾉﾝﾌｨｸｼｮﾝ作家 島村奈津
10	10月18日		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ･ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ　施設活用･制度等から考える	新谷大輔
11	11月15日		★ゲスト講師を招いた公開講座」 活動現場が高める青少年の社会力ーNPOと大学の連携効果	筑波学院大学学長／NPO法人つくば市民活動推進機構　代表理事　門脇厚司
12	11月29日		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ･ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ　教育プログラム･指導者から考える	新谷大輔
13	12月13日	<第３章>「すぎなみブランディング」～杉並の固有価値を掘り起こしデザインする	課題抽出ワークショップ	新谷大輔
14	12月20日		★ゲスト講師を招いた公開講座 [杉並っぽく、まちづくりー過去を未来につなぐ手法	東北学院大学経営学科教授　齋藤善之
15	1月17日		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ･ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ　杉並の資源を活用する	新谷大輔
16	1月31日		★ゲスト講師を招いた公開講座 「日本型まちづくりの終焉ー表参道まちづくり広告事業に学ぶー」	(株)ｼﾞｬﾊﾟﾝｴﾘｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 代表取締役　西本千尋
17	2月14日		ソーシャル･デザインに向けて～コミュニティ投資の視点	新谷大輔
18	2月21日	総括	杉並デザイン交流会 ―個人･グループ･提案発表会―	
合同	2月24日		合同発表会･懇親会	

塾生からのアイディア

- 『親子の眼による美しい街づくり』

親と子が課外授業等をもとに、日常生活の中で発見した違反行為（違法看板、広告など）をNPOなどを経由して、区の担当部局に通報（親子の眼）。区はその違法実態を確認のうえ，適切な強制手段を発動する（行政の腕）。

- 『杉並の緑を守る』

最近の“食育”のように、“緑育”を普及、促進する。“緑育”NPOを運営し、屋上緑化、生垣など、緑を作る。

- 『地域住民参加型育児支援組織「みんなのこども」』

保育園、幼稚園、託児所、学童、塾が融合した組織の構築。多くの地域住民が参加して、子どもの世話をすることにより、地域みんなで子どもを育てるという意識を持つ。

- 『生活をする上での基礎的な知識』

金融関連の仕組みの正しい知識を得るためのメニューを作り、学校などへ提案したり、相談コーナーを作る。若年層の知識不足から来る危険な対応を回避。

- 『団塊の世代を地域参加させるための仕掛け作り』
- 『虫と草の観察会、カブト虫事業』 いろんなところにカブト虫基地。落葉。NPO。

塾生からのアイディア

- 『杉並クオリティ』(杉並区のクオリティ・アップ運動)

自分及び自分の身の回りで杉並ブランドとして価値あるものを自己申告し、それを市民及び区が協力して宣伝し、東京２３区でも指折りの、活気に満ちた、個性的な区に育てていこうという運動の提案。

①杉並ブランドとして価値のあるライフスタイル(事業)の自己申告

②美しい街並みを意識した活動の事例提案

③杉並クオリティ運動への参加、または協賛の意思確認

＊まずは「横丁堂」から実践。「Heartstrings」と連携。

- 『遠くの親戚より近くの商店街』

お年寄りなど、なかなか気軽に外出できない。商店街が御用聞きの役割。

- 『学校図書館の地域への開放』

小中学校の図書館は区内に多数。コミュニティの拠点になり得る。

- 『愛のある学校支援』

登校拒否の生徒を受け入れる。教員資格を持った方によるボランティア支援。

塾生からのアイディア

- 『コミュニケーションと生き甲斐　～カラオケプロジェクト～』

カラオケ好きの中高年層をターゲット。歌うことは健康増進につながるなど、様々な効果。元気になれば、区の医療費負担も低下する。

既にカラオケを楽しむ中高年は多い。ただし、同じカラオケ好きでも、歌いたい人、歌に合わせて踊りたい人、一緒に歌いたい人、歌を教えたい人、など様々。いろんな自己表現がある。

自分の歌のCD、DVD作成。貸衣装屋、美容院と提携。素敵な個人宅の庭で歌い、それを映像化。杉並からプロ歌手を輩出する。

- 『看護学校と連動してのピンクリボン運動の展開』

看護学校で学ぶ学生にとっては知識を活かせる。地域とのつながりもできる。

- 『マンモグラフィーとエコー診断の併用検診の促進』

データを収集、厚生労働省に提言。

- 『安らぎお届け隊』
- 『杉並の都市計画を知る』

塾生からのアイディア

- 『明るく、元気な町づくり　～散歩と自転車で楽しむ杉並散歩と自転車で楽しむ杉並～』

- ***若者、古着屋の町高円寺からアンティック、芸術の町、西荻まで散歩、自転車で楽しめるエリアに。***

➢主に中高年層をターゲット。小さなビジネスを始めませんか？

人に教える仕事、ラーメン屋、アンティック、話を聞く屋、一時託児所、犬の一時預かり屋、有料庭園（庭の開放）、私設図書館、子育てサポート隊、小学生集会所、有料駐輪場、駄菓子屋、便利屋、素人大工、介護旅行屋、散歩屋、病院送迎屋、健康屋・・・・

➢大きな商圏として「小さなビジネス」を統合、統合により認知、集客をサポート、商店と協業する。

＊散歩・自転車で楽しみながら「小さなお店」を発見。出会いの楽しみを演出！！

＊散歩、自転車コースを整備（文化財、公園、小さなお店）

＊リアルとバーチャルで地図および情報を提供。ＷＥＢでは検索無く、地図上を散歩

＊生活情報もご提供（公共、病院、支援組織、ＮＰＯ等）

＊区外のお客を集客（ストップ＆ライド）

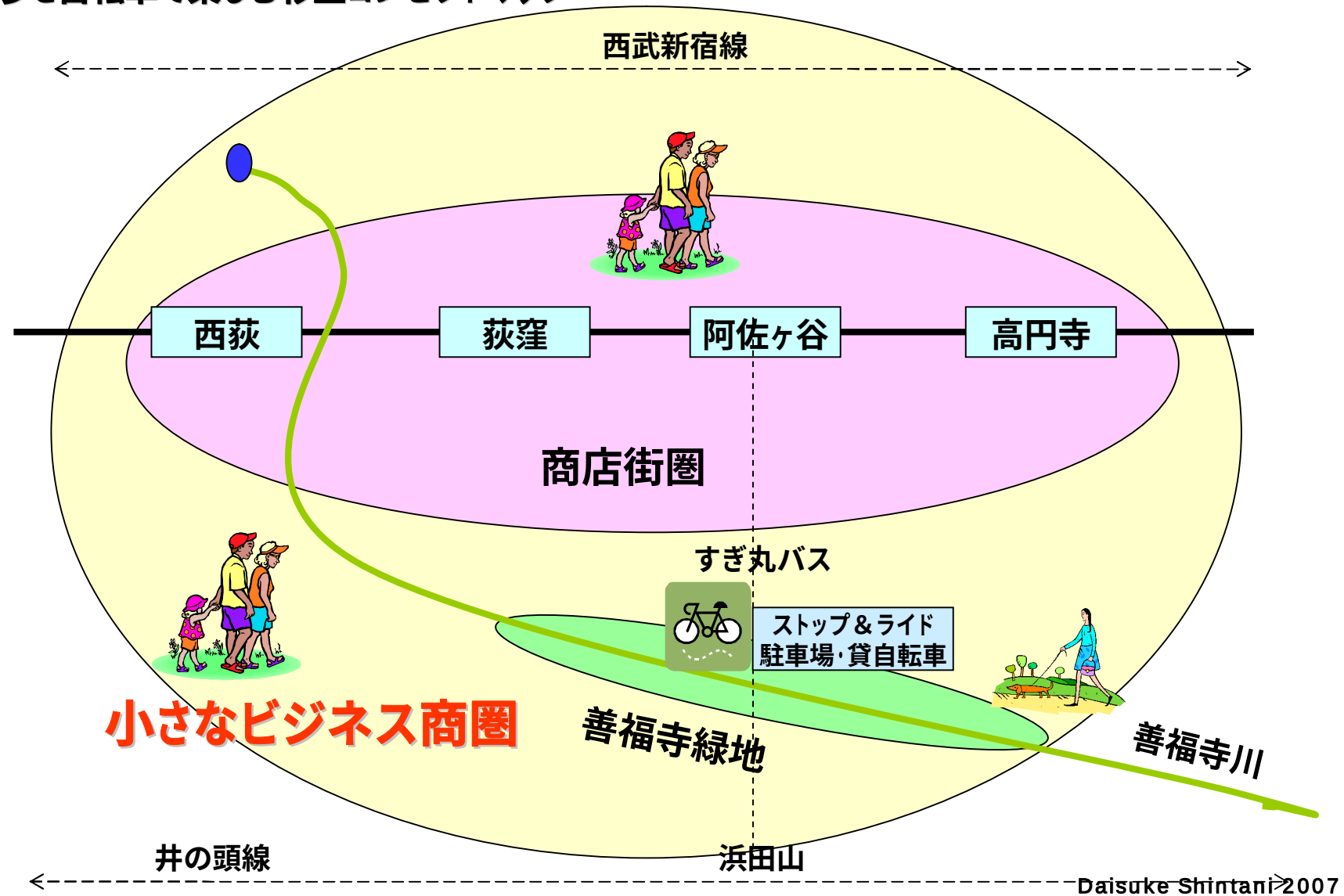
＊商圏内を自由に移動する、商店街の活性化！！

＊高円寺のお客を西荻へ

塾生からのアイディア

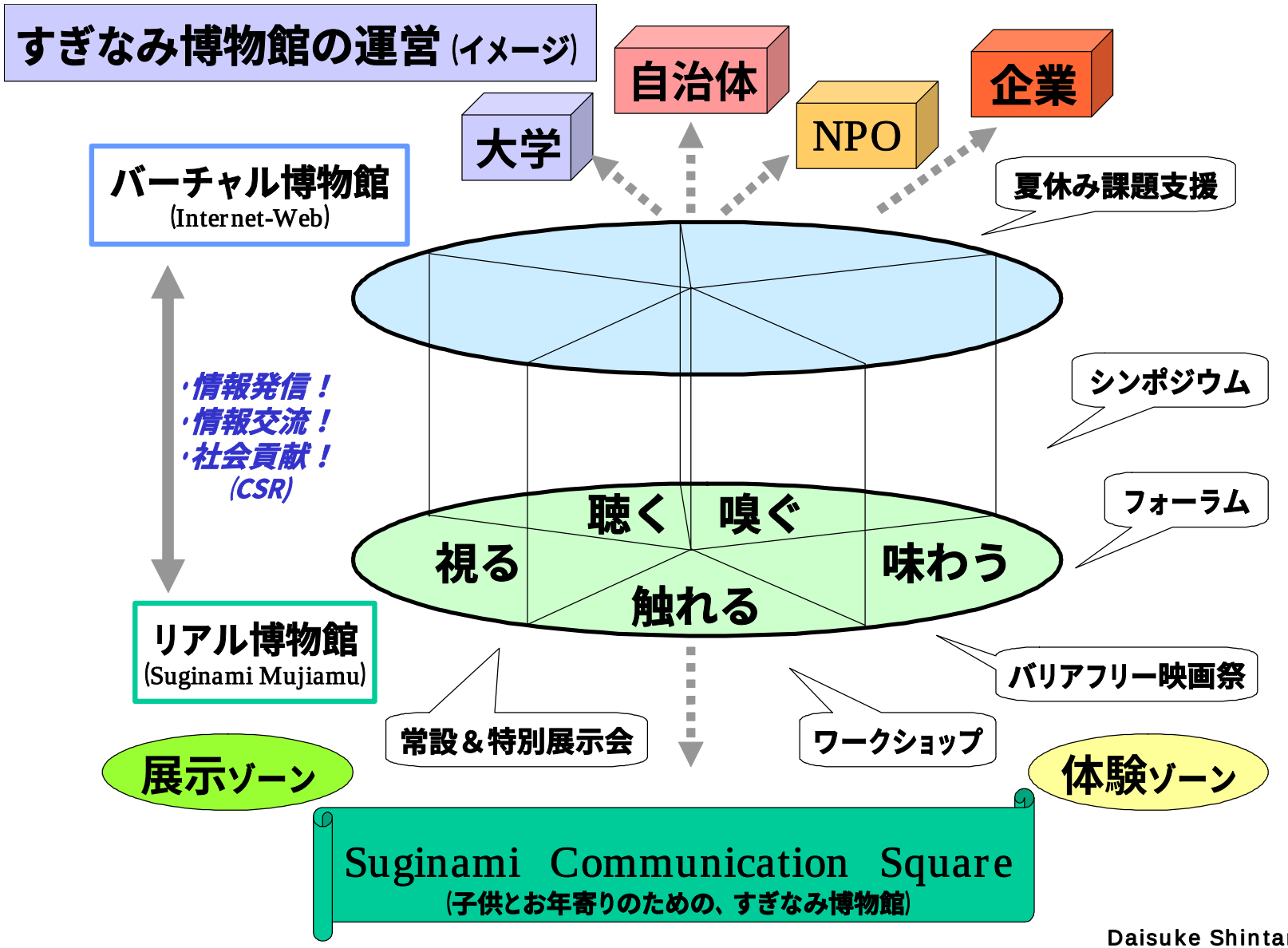
『明るく、元気な町づくり　～散歩と自転車で楽しむ杉並散歩と自転車で楽しむ杉並～』

散歩と自転車で楽しむ杉並コンセプトマップ



塾生からのアイディア

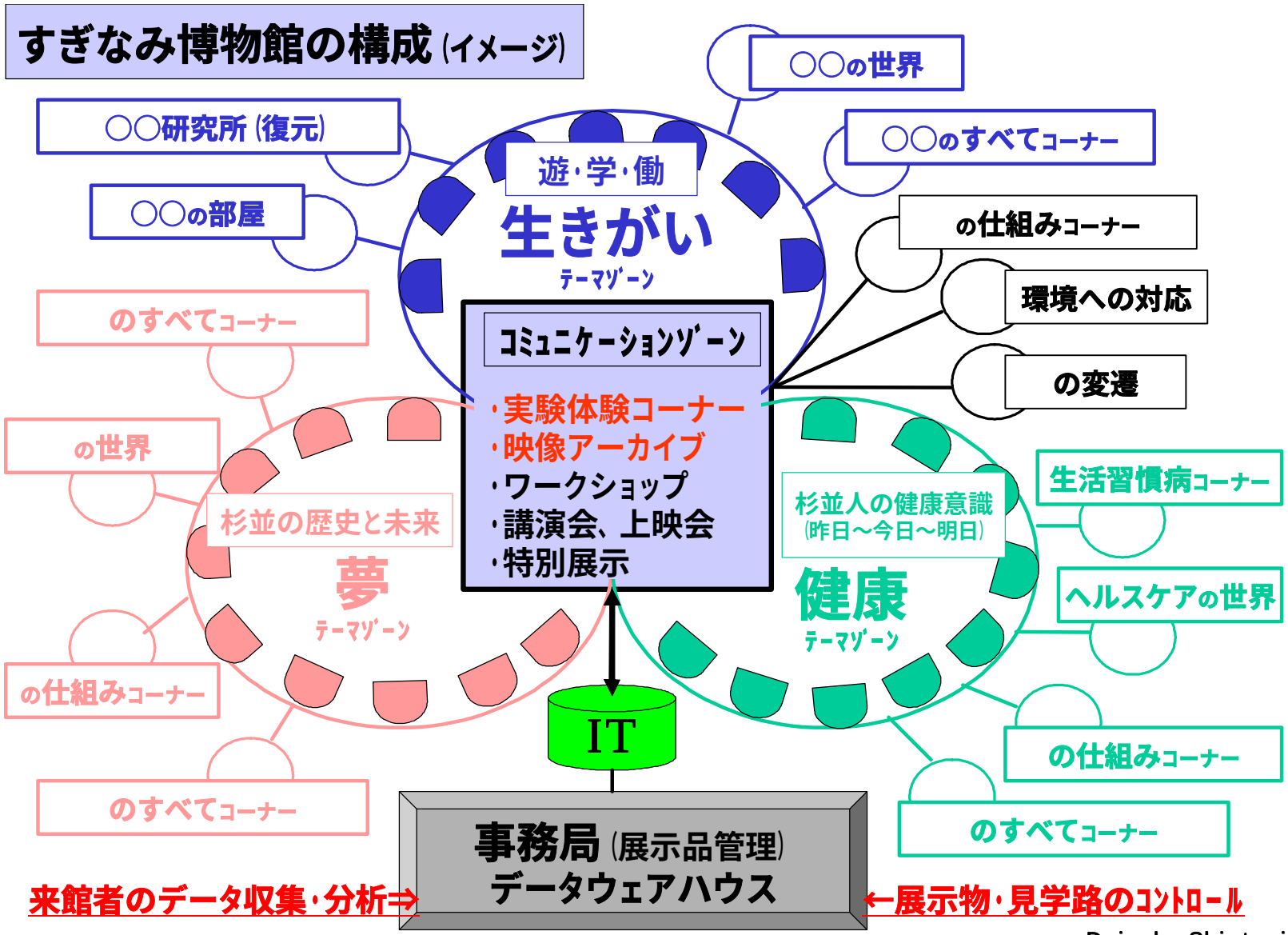
- 『Suginami Communication Square
～子供とお年寄りのための、すぎなみ博物館）』



Daisuke Shintani 2007

塾生からのアイディア

- 『Suginami Communication Square
～子供とお年寄りのための、すぎなみ博物館）』

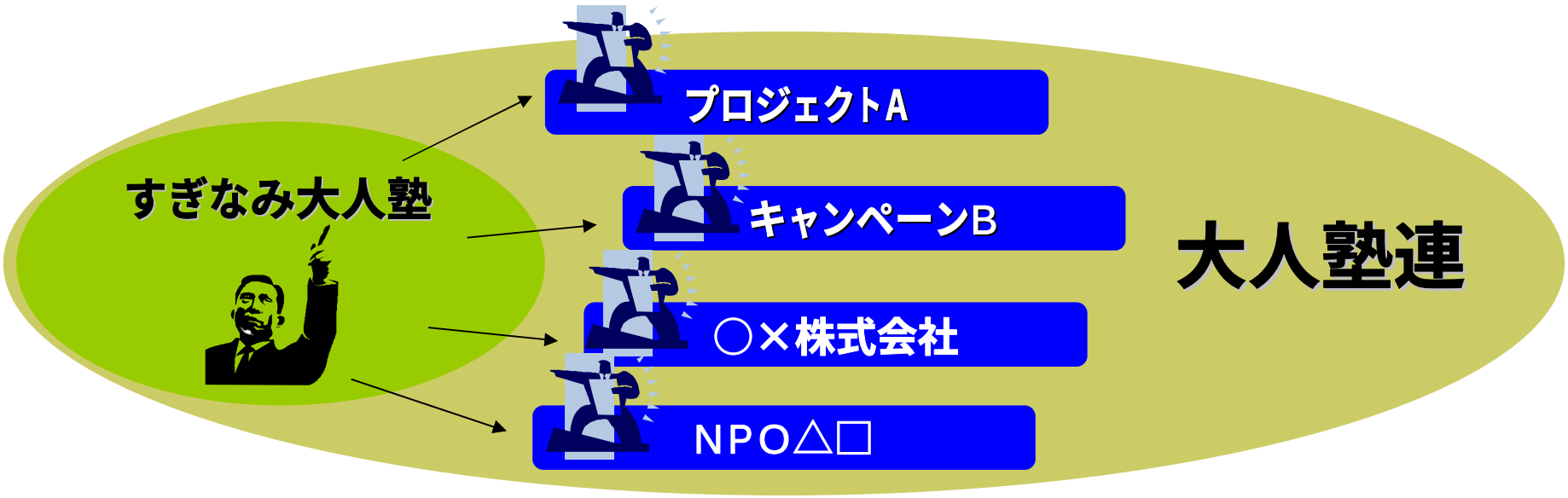


Daisuke Shintani 2007

大人塾連へ

大人塾での学び、提案の下に、

- アイディアを具現化するために、
- 提案者がリーダー (ｿｰｼｬﾙ･ﾃﾞｻﾞｲﾅｰ) となって、仲間が集い、
- そして、プロジェクト実現のために、
- 行動を起こしていく。 ⇒ 区へ提言、社会的起業、NPO、ｲﾍﾞﾝﾄ・・・



イノベーションのために

「個」を見直し(自分の周りに何がありますか？)、

「社会」との「つながり」を考える。

ちょっとした気づき。

それが、イノベーションのきっかけ。

イノベーションのために

A.新しい手法やテクノロジーを学ぶ

B.新しいアイディアを練るための時間や場所をつくる

①雑誌の講読とネットサーフィン

②映画監督になる

③一般公開する

④さまざまな主張に耳を傾ける

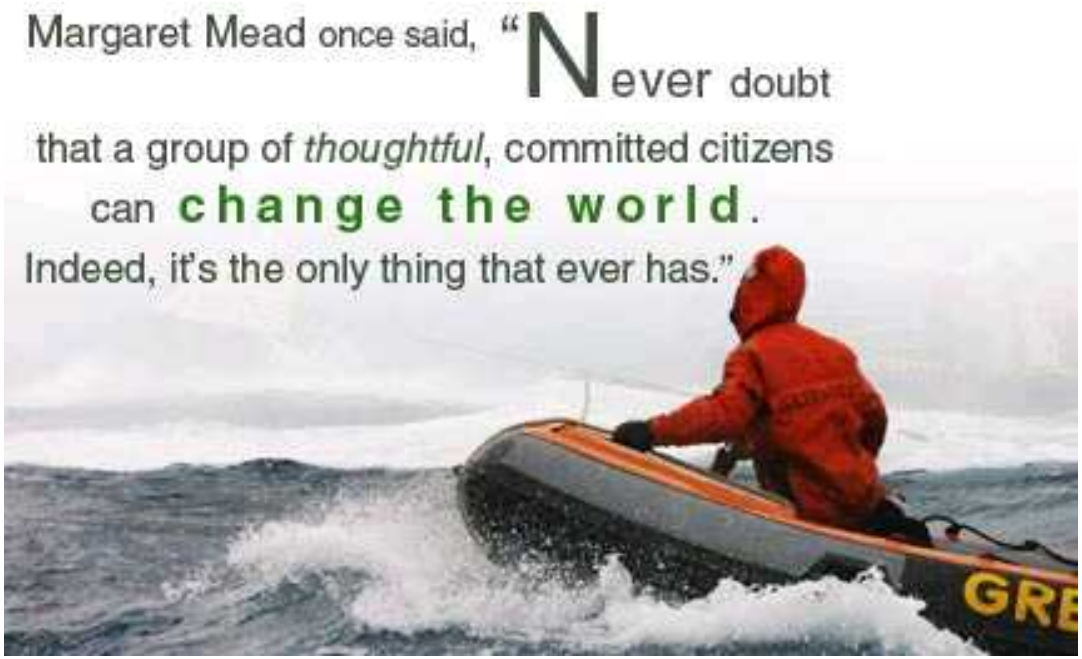
⑤アウトサイダーを雇う

⑥ちがう人間になってみる

⑦二種類以上の仕事ができるように訓練する

ﾄﾑ･ｹﾘｰ＆ｼﾞｮﾅｻﾝ･ﾘｯﾄﾏﾝ(鈴木主税･秀岡尚子訳)『発想する会社！世界最高のﾃﾞｻﾞｲﾝ･ﾌｧｰﾑIDEOに学ぶｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝの技法』早川書房 2002年

“Change the World”



http://www.greenpeace.com/

http://honesttea.com/

パッケージはリサイクル、原料はオーガニック。原料は、モンタナ州の貧しいアメリカ先住民から購入、さらに、売上の2%を購入元に還元し、一部はホームレスの先住民児童をサポートする基金にも寄付される。

一握りの思慮深くて献身的な市民がこの世界を変えられることを決して疑ってはならない。彼らこそが実際、これまでにも世界を変えてきた張本人なのだ。

ー マーガレット・ミード (文化人類学者)